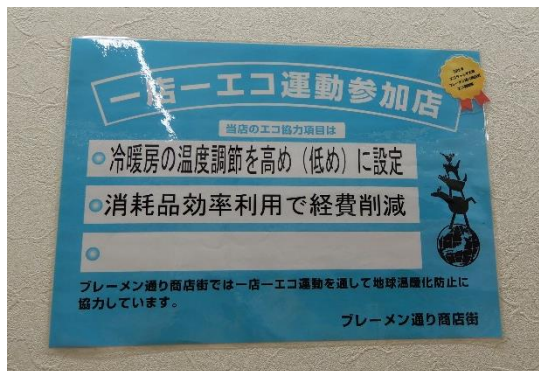


ブレーメン通り商店街でエコ調査隊 お店にインタビューしよう

東急東横線元住吉駅そばにあるモトスミ・ブレーメン通り商店街は、環境保護先進国ドイツとの交流から学び、環境保護に積極的に取り組んでいる商店街です。2003年から実施している1店1エコ運動は、商店街の各店舗が環境によいことを考え、1つでも取り組むというもの。エアコンを適正温度で使用する、傘袋の廃止などの目標を緑のプレートに書いて、店内外の見やすいところに掲示します。



ブレーメン通り商店街とグリーンコンシューマグループかわさきは長年協働し、今年も「川崎市地球温暖化防止活動推進センター 夏休み自由研究週間」の講座『ブレーメン通り商店街でエコ調査隊 お店にインタビューしよう』でエコ調査隊を募集しました。応募した周辺地域の小学生に、各店舗の1年間の取り組みを店長へ聞き取り調査をして評価をし、優秀な店には、エコちゃんず大賞のシールをプレゼントしました。お店とお客様が協力してエコショッピングを進め、継続することで地球環境の保護につながり、子どもたちへの環境教育にもなります。



1店1エコ運動は、2006年の地球温暖化防止活動環境大臣表彰の受賞をはじめとして、神奈川県や川崎市からも表彰を受けている活動です。2017年には「低炭素杯2017」でLIXIL賞を受賞しました。

モトスミ・ブレーメン通り商店街の伊藤理事長に1店1エコ運動について伺いました。

「廃プラスチックの問題は、商店街も密接に関わる問題です。厳しい意識を持たなくてはなりません。1店1エコ運動は、環境意識の高いグリーンコンシューマグループかわさきのかたが主導してくれることで、地球温暖化防止という目的に対して真摯な活動ができています。私が行くと、はいはい、やっていますよ～、という対応になるけれど、小学生が行くと店側も真剣に対応するん

です。16年目になる伝統のある活動です。これからも継続していきたいので、皆様のご協力が必要です。どうぞよろしくお願いいたします。」

